

臨床研究に関するお知らせ

宮崎大学医学部附属病院肝疾患センターでは、下記の臨床研究を実施しています。皆様には本研究の趣旨をご理解頂き、ご協力を承りますようお願い申し上げます。

研究課題名： 宮崎県における肝炎ウイルス検査の現状把握と陽性者の追跡調査

1．研究の概要

肝炎ウイルス検査で陽性と判定された方々を対象に、臨床情報の収集を行います。

* ウイルス性肝炎には、B型肝炎、C型肝炎などの疾患が含まれます。

2．目的

本研究の目的は、肝炎ウイルス検査で陽性と判定された方がその後どのように対応されているかについて、その実態を調査することです。なお、この研究は、肝炎の治療に関連する新しい知識を得ることを目的とする学術研究活動として実施されます。

3．対象者

宮崎県内で肝炎ウイルス検査を受け陽性であった方を対象とします。

4．方法

対象となる方にアンケート調査を依頼し、その情報から、データ収集を行い、統計学的な解析を行って有用な情報提供を行います。

5．費用負担

この研究を行うあたり、対象となる方が新たに費用を負担することは一切ありません。

6．利益及び不利益

この研究にご参加いただいた場合の利益・不利益はありません。参加を拒否された場合でも同様です。

7．個人情報の保護

研究にあたっては、対象となる方の個人情報を容易に同定できないように、数字や記号などに置き換え、「匿名化された試料・情報（どの研究対象者の試料・情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたものに限る）」として使用いたします。

8．研究成果の公表

この研究で得られた研究成果を、学会や医学雑誌等において発表します。この場合でも個人を特定できる情報は一切利用しません。

9．研究資金および利益相反について

本研究は、実施責任者が研究分担者として参加している、厚生労働省肝炎等克服政策研究事業「効率的な肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップシステムの構築のための研究」の科学研究補助金で実施されてましたが、このたび、「職域等も含めた肝炎ウイルス検査受検率向上と陽性者の効率的なフォローアップシステムの開発・実用化」研究班として研究機関が延長され(平成29年～31年)、この科学研究補助金で引き続き実施されることになりました。

この研究の実施責任者と分担研究者は、関連する企業やおよび団体等から経済的な利益の提供を受けているため、利益相反注1)は発生しますが、宮崎大学医学部等における臨床研究等利益相反マネジメント規定に従い、この研究の公正な実施に影響が出ないよう配慮いたします。

注1) 臨床研究における利益相反とは、研究者が当該臨床研究に関わる企業および団体等から経済的な利益(謝金、研究費、株式等)の提供を受け、その利益の存在により臨床研究の結果に影響を及ぼす可能性がある状況のことをいいます。

10．疑問や質問があった場合の連絡先

この研究に関して疑問や質問があった場合は下記連絡先へ遠慮無く連絡をお願いいたします。

宮崎大学医学部附属病院第二内科

永田賢治、下田和哉

電話： 0985-85-9121

FAX： 0985-85-5194